

オーディオの設定をする

お好みに合わせてオーディオの音や機能などを設定することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集**
集 **オーディオ** にタッチする

2 **オーディオ設定** にタッチする



オーディオ設定メニュー画面が表示されます。



フェーダー/バランス	前後左右の音量バランスを設定することができます。(→V-2)
イコライザー	あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(User)からイコライザーカーブを選ぶことができます。(→V-2)
ソースレベルアジャスター	AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。(→V-3)

消音設定	ナビゲーションの音声案内時に、オーディオ音量を下げるタイミングと音量レベルを設定します。(→V-4)
車速連動ボリューム	車の走行速度に合わせて、音量を自動で調整することができます。(→V-4)
Dolby Pro Logic II	CDなどのステレオ音声やドルビーサラウンドエンコードされたステレオ音声をサラウンド化して再生する機能(Dolby Pro Logic II)を設定します。(→V-4)
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミックレンジを圧縮して小さな音でも聞き取りやすくすることができます。(→V-5)
サウンドフィールドコントロール	車室内にリアルな音場を再現することができ、3つの音場空間を再現するプログラムから設定します。(→V-6)
サウンドレトリバー	圧縮音楽の音質補正機能を設定することができます。(→V-6)
リスニングポジション	乗車位置や乗車人数に合わせて、聴く位置を設定します。(→V-7)
タイムアライメント	各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整します。(→V-7)
オートレベルコントロール	音楽ファイルやAVソースごとに異なる音量差を補正します。(→V-8)
スピーカー設定	スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ(低音域再生能力)を設定します。(→V-8)
スピーカー出力レベル	各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。(→V-8)

カットオフ	スピーカー設定 (→V-8) で「SMALL」が選択されているスピーカーから出力される周波数帯域を設定します。(→V-9)
ノイズアッテネーター	イコライザーカーブなどの調整による音の歪みを低減します。(→V-10)

メモ

- ・走行中は操作できない設定項目があります。
- ・オーディオ設定メニュー画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。
- ・消音タイミングがOFFの場合は、音声案内中であるかどうかにかかわらずオーディオ設定の操作ができます。
- ・AVソースOFF時は、ノイズアッテネーターのみ設定できます。
- ・交通情報受信中は、ソースレベルアジャスター、消音設定のみ設定できます。
- ・Dolby Pro Logic IIは、サウンドフィールドコントロール、サウンドレトリバー、および、オートレベルコントロールのすべてがOFFのときに設定できます。
- ・サウンドフィールドコントロールおよびオートレベルコントロールは、Dolby Pro Logic IIおよびサウンドレトリバーがOFFのときに設定できます。
- ・サウンドレトリバーは、Dolby Pro Logic II、サウンドフィールドコントロール、および、オートレベルコントロールのすべてがOFFのときに設定できます。
- ・Linkwithの音声を対象に設定を変更する場合は、音声MixをOFFにしてから操作してください。音声MixがONの場合、Linkwithの音声に対してはオーディオ設定が無効になります。

フェーダー / バランス

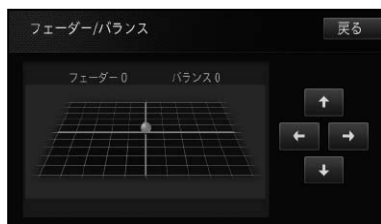
工場出荷時は以下のとおりです。

フェーダー：「0」

バランス：「0」

1 フェーダー / バランス にタッチする (→V-1)

2 ↑、↓、←、→ にタッチして前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。図の上が前を示します。

イコライザー

工場出荷時は「Flat」です。

1 イコライザー にタッチする (→V-1)

2 お好みの設定にタッチする



タッチすることによりイコライザーカーブが切り換わります。

ファクトリーカーブ	Flat	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
	Rock	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
	Natural	自然なバランスで、聞き疲れしない心地良い音を再生します。
	Pops	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
	Superbass	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
	User	Userメモリーに登録した調整値を呼び出します。
	詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かくレベルを補正することができます。補正した値は、Userに登録されます。

メモ

- すでにイコライザー設定(→V-2)で、Userに補正値を登録済みの場合、ここで補正した値が上書されます。

1 ファクトリーカーブを選ぶ(→V-3)

2 詳細設定にタッチする

3 補正する周波数を選び、▲または▼にタッチしてレベルを補正する



50Hz～12.5kHzから周波数を選べます。
-12dB～+12dBの間で2dBごとに調整できます。

ソースレベルアジャスター

工場出荷時は「±0dB」です。

メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - ・CD、ROM
 - ・AM、交通情報
 - ・VTR、AUX
 - ・SD、USB
 - ・DVD-V、DVD-VR
 - ・iPod（ミュージック／ビデオ）、Linkwith（iPhone）
 - ・HDMI、Linkwith（Android）

1 ソースレベルアジャスターにタッチする(→V-1)

2 + または - にタッチする



-8dB～+8dBの範囲で2dBごとに調節できます。

消音設定

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の着信などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。工場出荷時は以下のとおりです。

消音タイミング：「ON」

消音レベル：「-20dB」

1 消音設定にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



消音タイミング

ON	音声案内やカーウイングスご利用時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

消音レベル

-10dB	音量が1/3になります。
-20dB	音量が1/10になります。
MUTE	音量が0になります。

車速連動ボリューム

車速連動ボリュームは、走行速度に応じて音量をリアルタイムに補正し、快適な聴き心地を保ちます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 車速連動ボリュームにタッチする(→V-1)

2 お好みの感度にタッチする



OFF、**LOW**、**MID LOW**、**MID**、**MID HIGH**、**HIGH**から選んでタッチします。

感度にタッチすると色が変わり、選択(ON)されたことを示します。

メモ

- ・本機能が働いて音量が上がらずすぎたとき、音が歪むことがあります。その場合は、音量を調整するか、感度を下げてください。
- ・車速連動ボリュームに連動して案内音量・操作音量・受話音量・着信音量の音量も変化します。

Dolby Pro Logic II

Dolby Pro Logic IIとは、ドルビーラボラトリーズ社独自のマトリックスデコーダーで、CDなどのステレオ音声やドルビーサラウンドエンコードされたステレオ音声をサラウンド化して再生する技術です。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- ・サウンドフィールドコントロール、サウンドレトリバー、および、オートレベルコントロールのすべてがOFFのときに設定できます。

1 Dolby Pro Logic IIにタッチする(→V-1)

2 お好みの設定にタッチする



MUSIC ADJUST	MUSIC ADJUSTの設定画面に切り換わります。 MUSIC 選択時に設定できます。→「 MUSIC ADJUSTの設定 」(V-5)
OFF	設定を解除します。
MOVIE	映画やテレビドラマなどのステレオ音声をサラウンド録音に迫る立体的な音で楽しめます。
MUSIC	広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。またパラメーターを調整することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。
MATRIX	方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサウンド再生になります。FMやテレビなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。

MUSIC ADJUSTの設定

音楽の再生に適したサラウンド効果を得ることができます。

1 MUSIC ADJUST にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



PANORAMA ON/OFFにタッチして選択します。シームレスで包み込まれるようなサラウンド効果を生み出すことができます。

DIMENSION -/+にタッチして操作します。音場の位置をフロント側、リア側に、-3 ~ +3の間で調整します。+はフロント側(+) に、-はリア (サラウンド) 側(-)に音を移動します。

ダイナミックレンジコントロール

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音の幅です。この幅を圧縮することで、音量を下げた楽しむ場合に小さな音も聞き取りやすくなります。

工場出荷時は「OFF」です。

1 ダイナミックレンジコントロール にタッチする(→ V-1)

2 ON または OFF にタッチする



ON ダイナミックレンジコントロールを有効にします。

OFF ダイナミックレンジコントロールを無効にします。

サウンドフィールドコントロール

車室内にリアルな音場を再現することができ、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- Dolby Pro Logic IIとサウンドレトリバーがOFFのときに設定できます。

1 サウンドフィールドコントロールにタッチする(→V-1)

2 設定したい音場を選んでタッチする



OFF	音場設定をOFFにします。
JAZZ	ジャズクラブの音場を再現します。ライブ録音の音声に最適です。
STUDIO	演奏者を前にして聴くように、音が前方から聞こえるような音場を設定します。音楽ソフトを楽しむときに適しています。
CLUB	クラブの音場を再現します。残響音の響きが少ないので、ビートの効いた音楽などに最適です。

サウンドレトリバー

圧縮音楽の音質補正機能です。MSV、SD、USB、iPod、ROM-Audioなどに記録された圧縮音楽を再生するときに効果的です。圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまいます。「サウンドレトリバー」はデジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補完して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- Dolby Pro Logic II、サウンドフィールドコントロール、および、オートレベルコントロールのすべてがOFFのときに設定できます。

1 サウンドレトリバーにタッチする(→V-1)

2 MODE1 または MODE2 にタッチする



OFF	音質補正設定を解除します。
MODE1	圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。
MODE2	圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。

メモ

- 地上デジタルテレビ、FM、AM、交通情報受信中の場合、およびドルビーデジタル音声の場合には効果が得られません。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聴く位置を選択することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 リスニングポジションにタッチする(→V-1)

2 お好みのポジションにタッチする



OFF	設定を解除します。
オール	同乗者が後部座席にいるときの設定です。
フロント	同乗者が助手席にいるときの設定です。
フロントL	助手席を中心とした設定です。
フロントR	運転席を中心とした設定です。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。

メモ

- ・リスニングポジションをフロントLまたはフロントRに設定しているときのみ設定できます。
- ・通常は工場出荷時の値でを使用することを推奨します。

1 タイムアライメントにタッチする(→V-1)

2 各スピーカーの◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーからの距離が0cm～500.0cmの間で2.5cm単位で切り換わります。

初期値に戻す	工場出荷時の値に戻します。
TA OFF/TA OFF解除	TA OFFにタッチするとタイムアライメント設定を無効にします。TA OFF解除にタッチするとタイムアライメント設定を有効にします。

オートレベルコントロール

音楽ファイルやAVソースごとに異なる音量差を補正します。

メモ

- Dolby Pro Logic IIとサウンドレトリバーの両方がOFFのときに設定できます。

1 オートレベルコントロールにタッチする(→V-1)

2 お好みのモードにタッチする



OFF	設定を解除します。
MODE1	音質を優先して音量差を補正します。
MODE2	音量を一定にすることを優先して音量差を補正します。

スピーカー設定

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

工場出荷時の値は、フロント／リアともに「LARGE」です。

1 スピーカー設定にタッチする(→V-1)

2 各スピーカーの◀または▶にタッチして設定する



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

フロント	SMALL ↔ LARGE
リア	LARGE ↔ SMALL ↔ OFF

メモ

- リアスピーカーを接続していないときは、リアを「OFF」にしてください。
- フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。

スピーカーサイズについて

スピーカーのサイズは、100Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

スピーカー出力レベル

各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。工場出荷時は「OdB」です。また、テストトーンを聴きながら出力レベルを調整することができます。「テストトーン」(→V-9)

メモ

- スピーカー設定(→V-8)でOFFにしたスピーカーは操作できません。

1 スピーカー出力レベルにタッチする(→V-1)

2 設定したいスピーカーの、◀または▶にタッチして設定する



タッチすることにより、スピーカーの出力が-24dB ~ +10dBの間で切り換わりします。

テストトーン

テストトーンを聴きながら各スピーカーからの出力レベルを調整し、全体のバランスを整えます。

1 テストトーンにタッチする(→V-9)

2 開始にタッチする



約2秒間ずつ、以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。

フロントL→フロントR→リアR→リアL→フロントLに戻る

テストトーン出力中のスピーカーには、◀、▶が表示され、調整が可能になります。



3 ◀または▶にタッチする

タッチすることにより、スピーカーの出力が-24dB ~ +10dBの間で切り換わりします。このモードで調整した出力レベルは、スピーカー出力レベル設定で調整したレベルと同じ値になります。

メモ

- スピーカー設定で「OFF」にしたスピーカーは飛び越されます。
- **停止**にタッチすると、テストトーンの出力を停止することができます。
- **戻る**にタッチすると、スピーカー出力レベル設定画面に戻ります。

カットオフ

スピーカー設定(→V-8)で「SMALL」が選択されているスピーカーから出力される周波数帯域を設定することができます。

工場出荷時の設定は、フロント/リアともに以下のとおりです。

周波数	100Hz
スロープ	-12dB
ミュート	OFF

1 カットオフにタッチする(→V-2)

2 設定したいスピーカーの(フロント、または、リア)にタッチし、◀または▶にタッチして設定する



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

周波数	50Hz⇄63Hz⇄80Hz⇄ 100Hz⇄125Hz⇄160Hz⇄ 200Hz
スロープ	-18dB⇄-12dB⇄-6dB
ミュート	OFF⇄ON

メモ

- スピーカー設定で「OFF」を設定したスピーカーは設定できません。また、スピーカー設定で「LARGE」を設定したスピーカーは、周波数とスロープの設定ができません。

ノイズアッテネーター

イコライザーカーブなどの調整による音の歪みを低減します。通常はHIGHで使用することを推奨します。ノイズが気になる場合はLOWにします。

メモ

- AVソースがOFFのときのみ、ノイズアッテネーターの設定ができます。
- Linkwithが有効な場合、ノイズアッテネーターの設定はできません。

1 ノイズアッテネーターにタッチする(→V-2)

2 HIGHまたはLOWにタッチし、設定を切り換える

